



8月

パストラル尼崎

葉月

No.158, 2025(R7)年7月25日
〔編集・発行〕
パストラル尼崎
尼崎市潮江1丁目10-2
Tel. 06-6493-0521
Fax. 06-6493-0301
発行責任者：竹田 憲之

◆8月の歳時記◆

『パストラル尼崎の夏まつりに寄せて』

8月は、パストラル尼崎の『夏祭り』が開催されます。過去には、館内『道の駅』を企画し、淡路島や但馬など真正銘の『道の駅』や『直売所』からご当地の農作物や銘菓、乳製品などをダンボールで何箱も取りよせ、百円均一で販売していました。販売方法は基本無人で、買った分の金券を箱に投入するという田舎の無人販売所形式を採用。ロビーいっぱいにお野菜や果物が所狭しと並び、館内『道の駅』の光景は、見ているだけでも元気が出ました。

そこで、今も語り草となっているのが当時の夏祭り様子です。道の駅の開店前になると、いつもは穏やかな空気が流れるロビーに長蛇の列ができ、既にお野菜や果物をゲットしようとする戦闘態勢に入っている大勢のご入居者の姿が：汗 開店のカウントダウン「5, 4, 3, 2, 1, 0」と同時に、「ドドドド…」と猛烈な勢いで売りに場に入ると皆さま。中にはいつもの杖やカート置き去り、驚くほど俊敏な足取りで目当てのコーナーへ。ハラハラするスタッフを横目に腕を伸ばしお目当てのものをいくつもゲットする猛者もおられ、その遅しさに圧倒されつつも、いつもより生き生きとした姿にパワーをもらったものです。しかし、コロナ禍、大混雑必至の「道の駅」企画は当然中止。代わりに人員制限を実施しつつのゲームを何とか開催。けれどコロナが収まった後は、運賃の高騰、物価の高騰で百円で買える館内『道の駅』は、惜しまれつつ閉店を余儀なくされます。しかし「たかがゲーム、されどゲーム」。パストラル尼崎のご入居者の勝負に対する姿勢は真剣そのもの。どうすれば点数を稼げるかと頭脳戦を繰り広げる方もおられ、中には優秀なアドバイザーとなり、いかに勝てるか周りを先導。企画側の脅威となり、毎年、新しいゲームの開拓に頭を悩ます事に：汗 何事にも真剣で、そして自ら楽しむ「チカラ」を持ち合わせた方が多いのもパストラル尼崎のご入居者の特徴。そこかしこで大声で笑い合う姿も、戦利品を見せ合う姿も、夏祭りならではの楽しい光景です。さて、今年の夏祭りまであとわずかか：。こんな盛り上がりが見られるか今から楽しみです。



2018年夏祭り『道の駅』

『昔あそびを楽しむ会』発足！

一昨年から続々と、新しい同好会やサークルが立ち上っています。『折紙同好会』『俳句同好会』『昔あそびを楽しむ会』『己書サークル』など、そのバラエティに富んだコミュニティは、パストラル尼崎にフレッシュな風を吹き込んでくれています。

その中のひとつ、『昔あそびを楽しむ会』をご紹介します。当日まで、何度も世話役のK様とH様が入念な打合せをされている姿を見ていましたが、「来てくれるかしら？」と不安げな様子や心臓の鼓動も手に取るようにわかる日々。今までのサークルや同好会の皆さまも同じご苦労があった事は察するにあまりありません。さて当日、7名の参加者を得、会はスタート！司会のK様の「最初は“ボケます小唄”を歌います」との音頭で、皆がお座敷小唄の替え歌“ボケます小唄”を歌います。笑える歌詞で一気に緊張がほぐれたあと、本日のメイン企画、昭和の生活などが描かれた懐かしいカルタをそれぞれが読み、それについて自由に思い出を語ります。それが何とも面白く、「私たちの時代はこうだった」「あら？そんなの知らないわ？」などという戦中派生まれと戦後派生まれのギャップの面白さや、「卵は貴重品で…」と幼少期時代のエピソードなど話題は尽きず…。終始和やかな時間が流れました。これから様々なあそびを展開していくそうですよ。一度是非覗いてみて下さい！

令和7年度

パストラルシニア大学

今年度も多彩な講師をお迎えし、充実した内容でお届けしています。講師陣からその受講姿勢を絶賛されている皆さま。今年度も是非ご参加下さい。

- * 毎回フロントにお申込み下さい。
- * 当日は、学生証も忘れずに！

第3回

『科捜研の男の事件簿』

・日時：8月22日（金）14時～

講師

関西国際大学心理学部
教授 中山 誠 先生



凶悪事件などのコメンテーターとしてメディアにも多数出演されている本物の科捜研歴27年の中山先生の講演に是非ご参加下さい。